

河川事業の事後評価資料

〔神通川特定構造物改築事業 （大坪用水堰）〕

平成23年12月
北陸地方整備局

目 次

1. 事業等の概要	1
1－1 神通川及び井田川流域の概要.....	1
1－2 事業着手前の大坪用水堰.....	2
1－3 神通川特定構造物改築事業（大坪用水堰）	3
1－4 全体事業費と工期	6
1－5 コスト縮減	6
1－6 景観・自然環境配慮	7
2. 事業の効果の発現状況	8
3. 事業実施による環境の変化	9
4. 社会経済情勢等の変化	10
5. 今後の事業評価の必要性	11
6. 改善措置の必要性	11
7. 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し・改善 措置の必要性.....	11

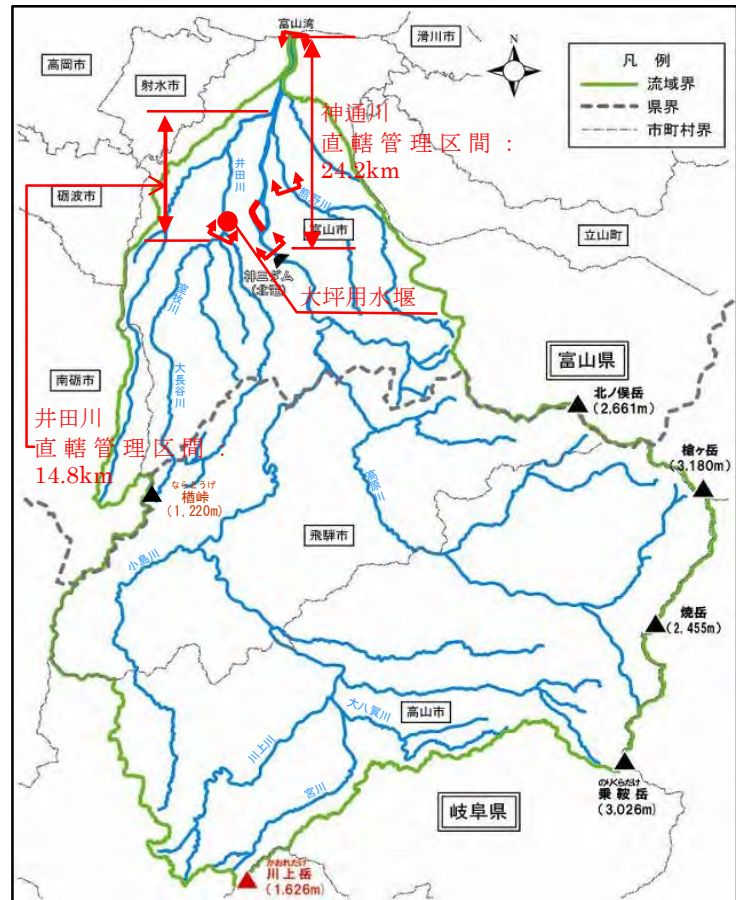
1. 事業等の概要

1-1 神通川及び井田川流域の概要

神通川は、その源を岐阜県高山市の川上岳(標高1,626m)に発し岐阜県内では宮川と呼ばれ、岐阜県内で川上川、大八賀川、小鳥川等を合わせて北流し、岐阜、富山県境で高原川を合わせ、富山県に入り神通川と名称を改め、神通峡を流下し、平野部に出て、井田川、熊野川を合わせて日本海に注ぐ、幹川流路延長120km、流域面積2,720km²の一級河川である。

神通川の支川井田川は、岐阜県旧河合村の榑峠を源流に発し、大長谷川、室牧川と名称を変えながら北流し富山平野へ流れ出て、神通川へ合流する流路延長50km、流域面積407km²の一級河川である。

直轄管理区間の河道周辺は水田地帯に市街地が散在しており、河床勾配は約1/630~1/120程度、川幅は全川概ね100m~150m程度となっている。



直轄管理区間上流端付近



神通川と井田川の合流点付近

1-2 事業着手前の大坪用水堰

井田川の扇頂部に位置する大坪用水堰は昭和41年に設置された農業用水取水堰である。堰の敷高が上下流の河床より約1.7m高い固定堰で、川の断面を著しく阻害しており、平成2年9月洪水では、堰の影響によるせき上げが発生し堤防天端近くまで水位が上昇するなど、堤防の決壊や水があふれる危険性が高い箇所となっていた。

また、堰周辺は左右岸とも住宅地が隣接しており、堰下流にはJR橋梁、右岸堤と並行して県道が通っているなど、周辺には洪水から守るべき施設が多く存在し、また扇頂部に位置しているため、堤防が決壊した場合の被害も甚大である。

そのため、「神通川水系改修期成同盟会」などから、抜本的な解決策として、大坪用水堰の改築が強く求められていた。

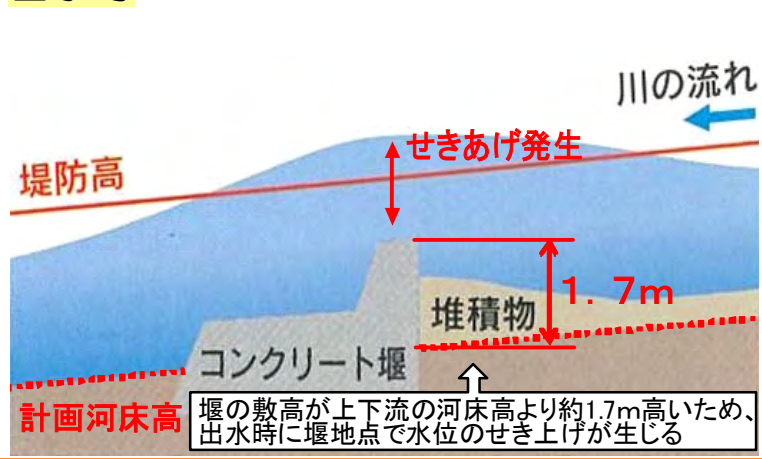
改築前的大坪用水堰（固定堰）



洪水時の堰上げ状況
（平成2年9月洪水）



出水時

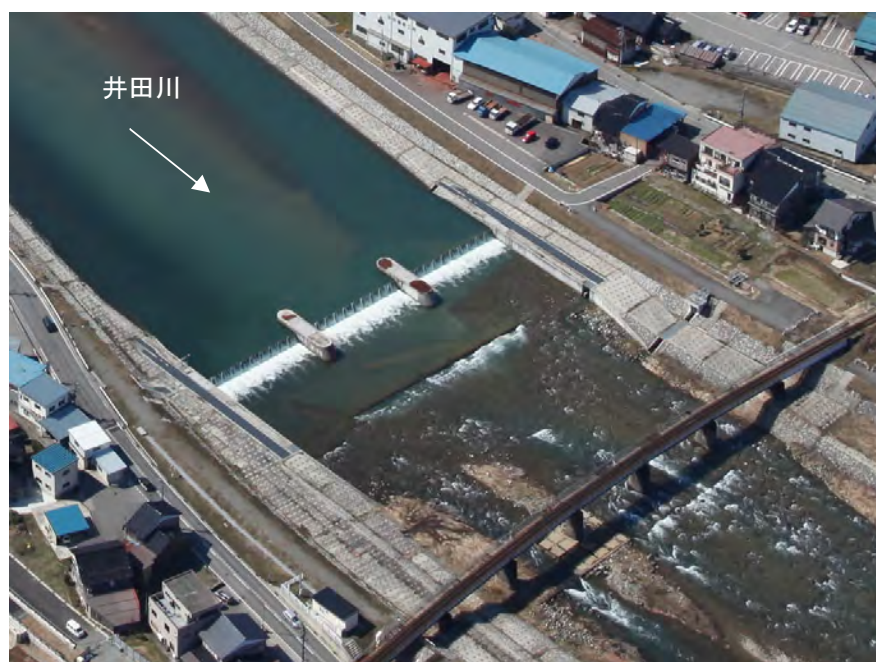


1－3 神通川特定構造物改築事業（大坪用水堰）

大坪用水堰は、敷高が上下流の河床より約1.7m高い固定堰で、著しく川の断面を阻害しており、洪水時には、堤防の決壊や水があふれる危険性があり全面的な改築が必要であったことから、平成14年度に「特定構造物改築事業」として堰の改築に着手した。

改築にあたっては、固定堰から可動堰へ改築し、洪水時の治水安全度の向上を図るとともに、従来どおりの取水が確保できる施設とした。また、堰の改築に併せて影響範囲における弱小堤対策も併せて実施している。

なお、本箇所は、井田川の扇頂部に位置しており堤防が決壊した場合の被害も甚大となる治水上の危険性等を考慮し、できるだけ短期間に完成させる必要があったことから、「特定構造物改築事業」として集中的な投資を行い、改築を実施したものである。



現在の大坪用水堰（H23.3）

【堰諸元】

旧堰：	コンクリート固定堰
新堰：	
堰幅	81.0m
形式	鋼製起伏堰
ゲート	24.6m×2.05m ×3門
最大取水量	約12万m ³ /日
灌漑面積	206ha

【参考】特定構造物改築事業

すでに耐用年数に達している堰、水門等の大規模な老朽構造物及び河道計画に照らして著しく河積を阻害している橋梁、堰等の大規模構造物について全面的に大規模な改築が必要となった場合に、その機能の回復を図るため、機動的、集中的な投資を行い必要な改築を行うものである。

堰及び扉体状況

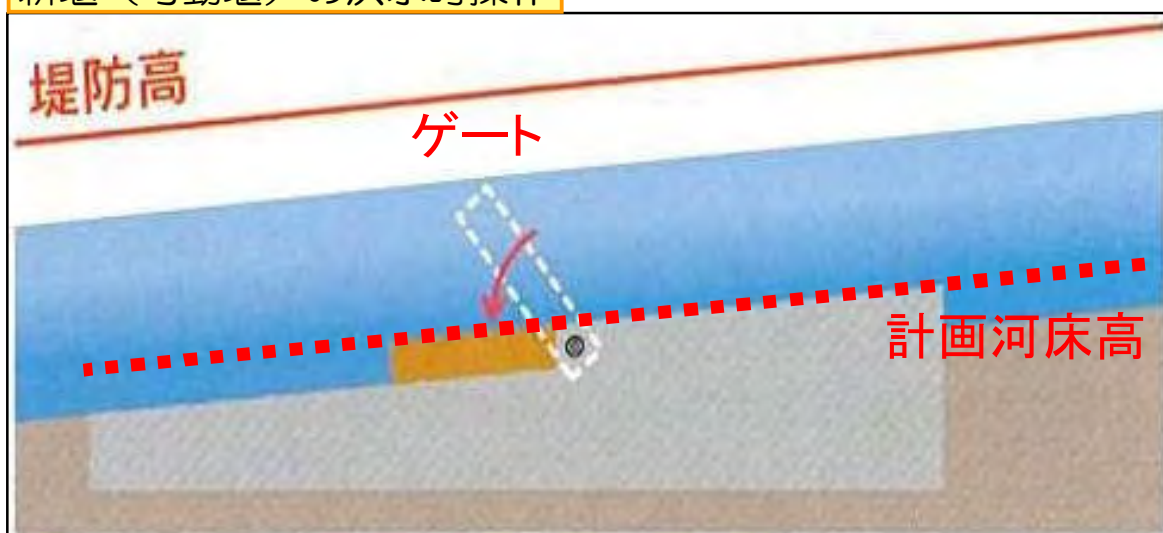


堰及び扉体状況（倒伏イメージ）



洪水時はゲート（3門）を計画河床高まで倒伏させることにより、旧堰のような水位の堰上げを起こすことなく洪水の流下を行うことが可能となった

新堰（可動堰）の洪水時操作





1－4 全体事業費と工期

神通川特定構造物改築事業（大坪用水堰）

【新規事業採択時】

事業費：53億円

事業期間：平成14年度～平成18年度（5ヵ年）

【事後評価時】

事業費：53億円

事業期間：平成14年度～平成18年度（5ヶ年）

1－5 コスト縮減

- ①開閉装置に油圧ユニットと油圧シリンダーを一体化する新技術を採用することで、維持管理費の縮減を図った。（縮減率22%）
- ②扉体材質にステンレス鋼材を採用することでメンテナンスフリー化を図り、維持管理の削減を図った。



1-6 景観・自然環境配慮

管理橋を省略し、管理建屋の外観をシンプルにすることで景観を損なわないよう配慮した。

また、開閉装置等の油流出対策として、オイル吸着マットを設置した排水槽に堰柱内の排水を集中させる工夫を行った。



大坪用水堰の管理建屋とその周辺景観

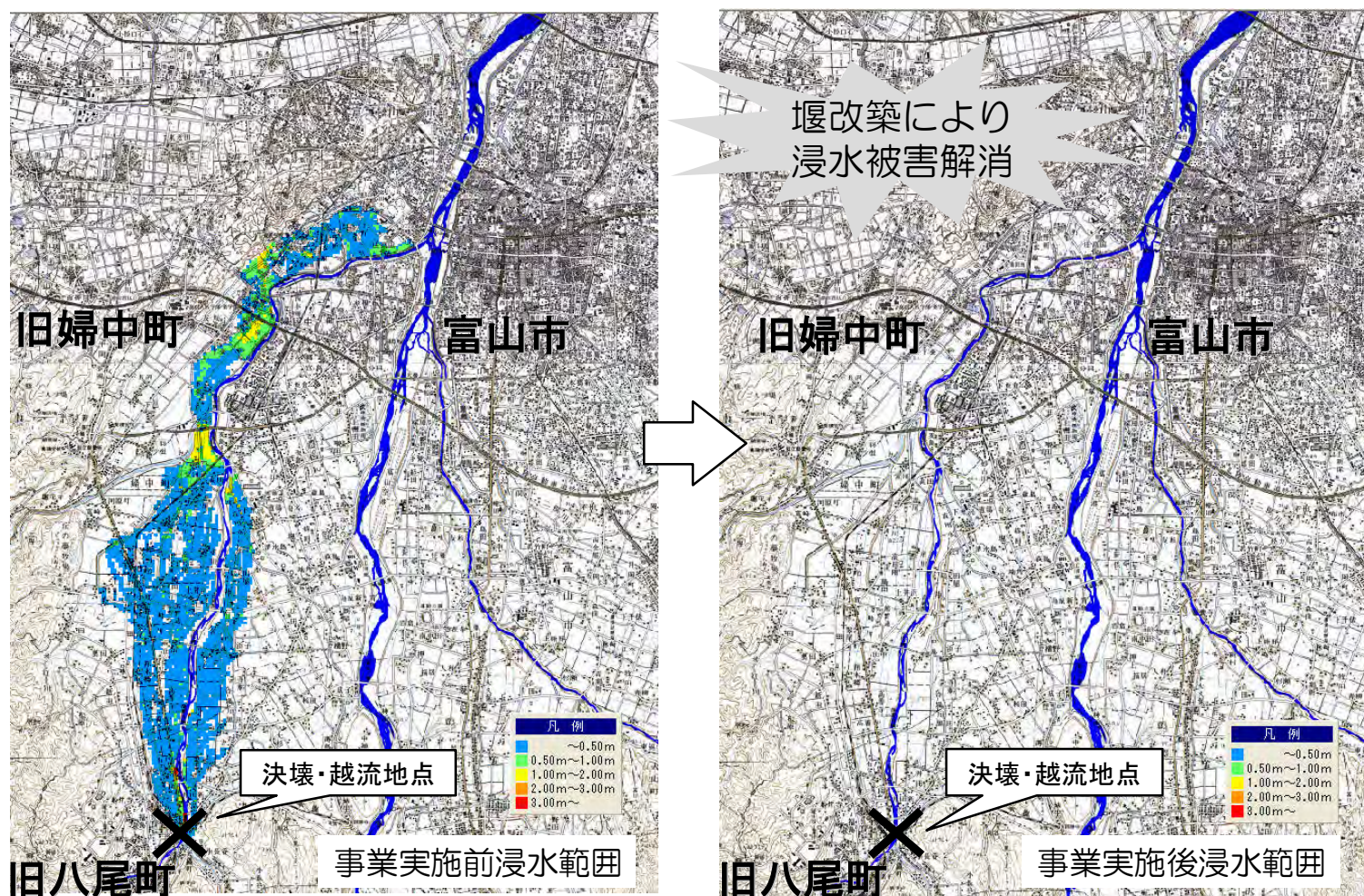


開閉装置等の油流出対策（堰柱内の排水を排水槽に集中処理）

2. 事業の効果の発現状況

神通川特定構造物改築事業（大坪用水堰）の実施により浸水被害を大幅に軽減した。この事業効果を氾濫シミュレーションにより検証した結果、計画規模である1/100相当の洪水があった場合、洪水氾濫が解消される。費用対便益を算出した結果、6.6（新規採択時8.4）となっている。

事業実施前後の浸水範囲（洪水規模1/100）



便益・費用の比較（単位:百万円）

項目	新規採択時	事後評価時	増減
総便益	46,017	48,964	2,947
一般資産被害	16,240	17,459	1,219
農作物被害	811	471	-340
公共土木被害	27,511	29,587	2,076
間接被害	1,455	1,359	-96
残存価値		88	88
総費用	5,486	7,394	1,908
建設費	5,008	7,289	2,281
維持管理費	487	105	-382
残存価値	-10		10
費用便益比	8.4	6.6	

B/Cの主な変化要因:

氾濫解析におけるメッシュサイズ・地盤高の精度向上

3. 事業実施による環境の変化

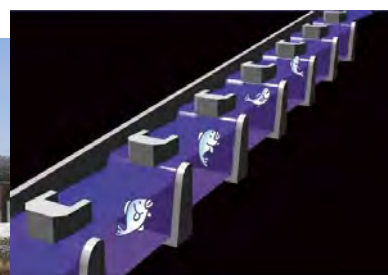
旧大坪用水堰には中央に魚道が設置してあったが、魚道と河床に落差があり、魚類の遡上が困難な状況であった。

堰改築に伴う新しい魚道については、学識経験者、内水面漁協関係者からなる「魚道検討委員会」を設け、タイプ、大きさ、構造等を検討した。その提言により、水位変動に比較的好く対応し、遡上魚の休息域も確保され、多種多様な魚種に対応可能なプールタイプ式のアイスハーバー型魚道を設置し、旧堰により妨げられていた魚類の遡上や降下が可能となった。

改築前の大坪用水堰
(魚道と河床に落差があり遡上が困難)



改築後の大坪用水堰



▲イメージ図

魚がのびやすいように魚道の水量を一定に保つ



左岸側魚道入口(右岸側から望む)

▲新堰の魚道は段差がない

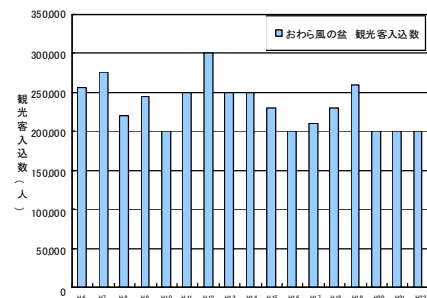
4. 社会経済情勢等の変化

八尾町の中心市街地は「おわら風の盆」が全国的に知られ、県内外の多くの観光客が訪れることから、歴道整備（八尾町歴史的地区環境整備街路事業）を実施するなど観光資源を活用した中心市街地の整備に取り組んでいる。

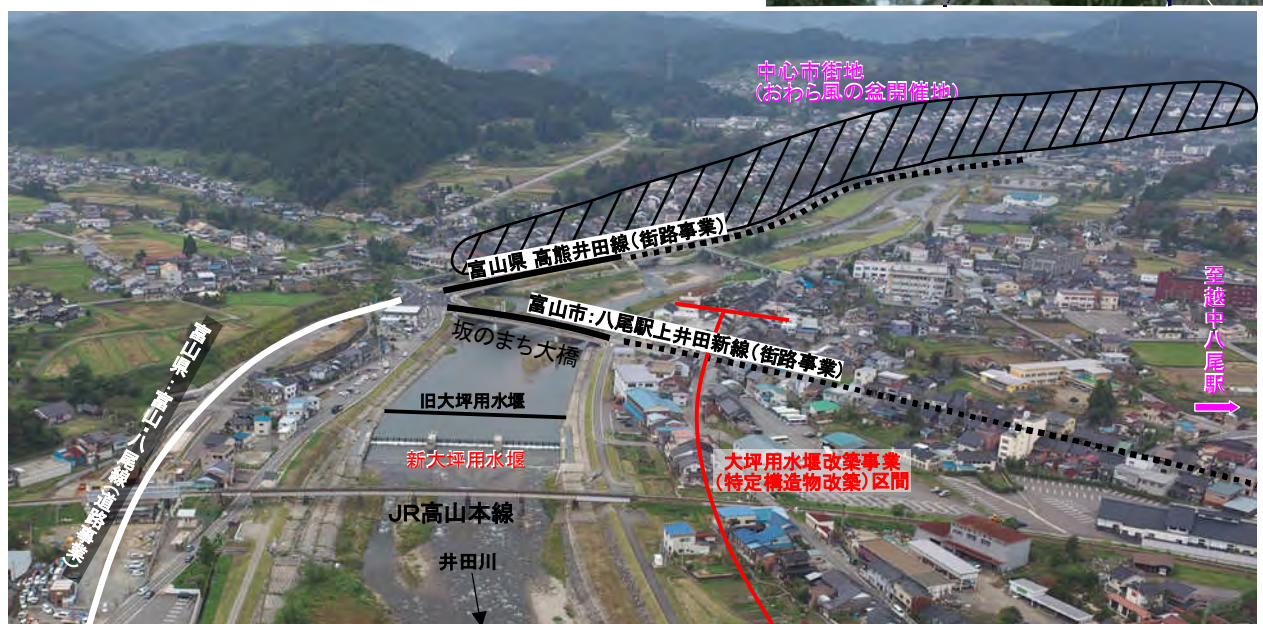
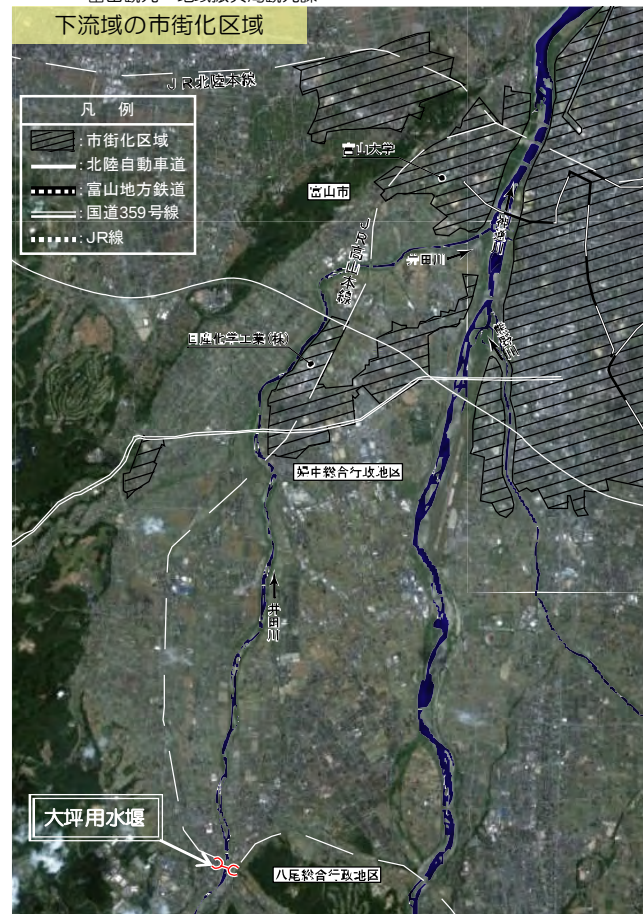
堰改築が完了した平成18年以降も、おわら風の盆の観光客は概ね20万人強で推移しており、毎年大きな賑わいを見せている。

下流域の市街化区域においては、北陸自動車道、JR高山本線、富山地方鉄道、国道359号線等の交通ネットワークや富山大学、工業地帯が存在しており、今後も周辺地域の発展・振興が期待される。

本事業においては、旧八尾町（現富山市）による道路の整備（まちづくり総合支援事業）、富山県による既設道の張り替え（高熊井田線・富山八尾線）と同時期に施工することで八尾町井田地区の治水安全度の向上と街づくりが一体となり、「かわ」の改修が街づくりに貢献できた。また、堰改築後も農業用水取水堰として井田川沿川に広がる水田地帯の灌漑に寄与している。



＜出典＞ 富山観光・地域振興局観光課



5. 今後の事後評価の必要性

事業完了以降には、事業効果を検証するような豪雨は発生していないが、事業の実施により、流下能力ネック地点となっていた当該地点の流下能力の向上が図れたとともに、浸水被害軽減の効果が期待されたことから事業の有効性は十分見込まれ、再度の事後評価の必要性はないと考える。ただし、今後とも洪水発生時における事業の効果を検証していくこととする。

6. 改善措置の必要性

必要があれば堰管理者と調整し、改善処置を指導する。

7. 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し・改善措置の必要性

現在、事後評価については、事業完了5年で事後評価を実施しているが、今後も洪水発生時を含む堰の事業効果を検証していく。

神通川特定構造物改築（大坪用水堰） 費用対便益 [様式集]

様式-1 ブロック分割図

様式-2 資産データ

様式-3 被害額

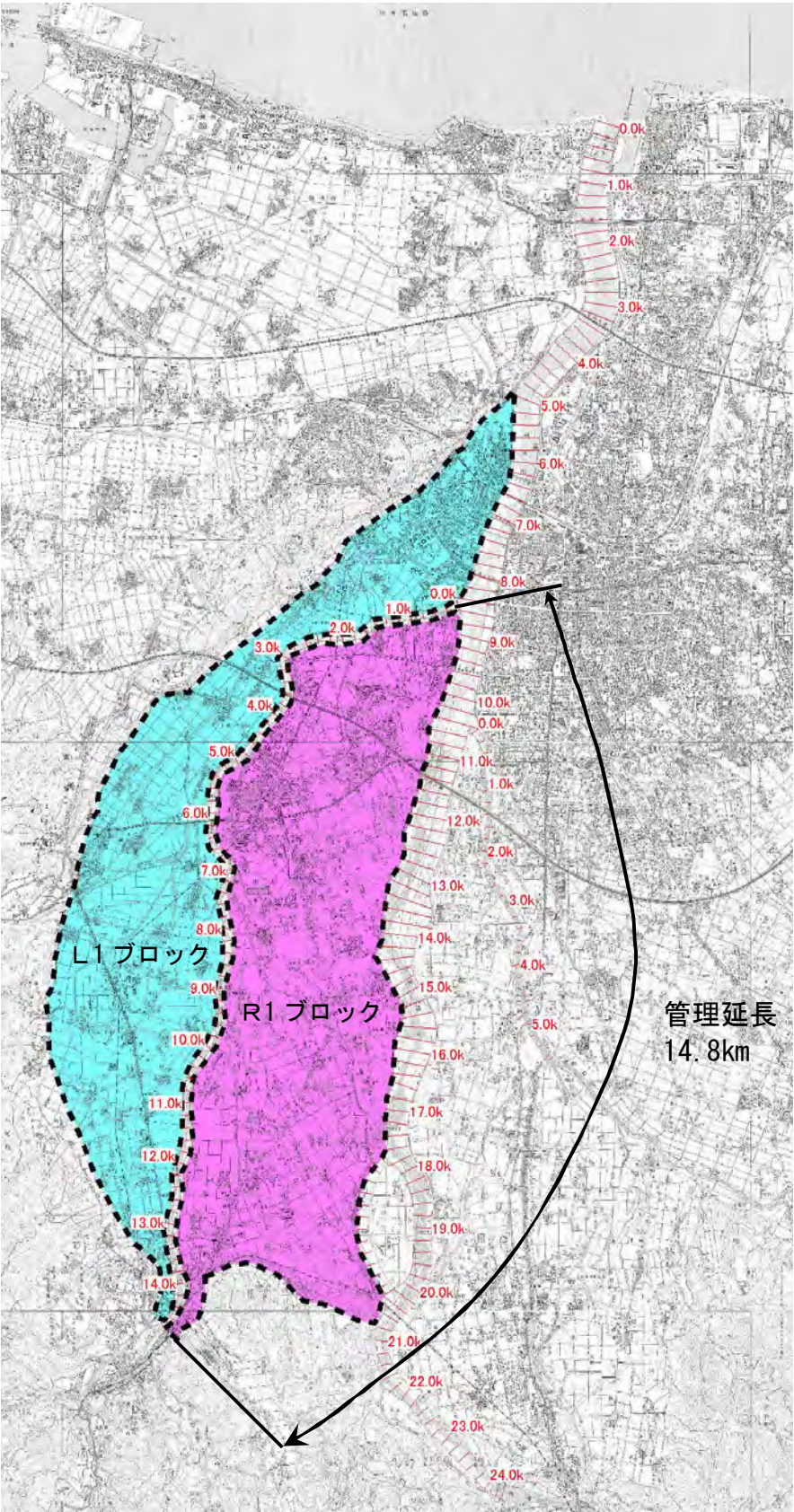
様式-4 年平均被害軽減期待額

様式-5 費用対便益

費用便益分析チェックシート

事業費の内訳書

様式-1 ブロック分割図 水系名：神通川 河川名：井田川



様式一2 資産データ				水系名:神通川		河川名:井田川		国勢調査年:平成17年				事業所統計調査年:平成18年				備考		
区画ブロッ ク	ブロック 面積 (km2)	一般資産等基礎数量						一般資産額				農作物資産						
		人口	世帯数	従業者数	農漁家数	水田面積	畑面積	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲		畑作物	小計
										償却	在庫	償却	在庫					
L 1	24.87	28,559	11,852	11,139	369	1,706	11	474,483	195,174	48,634	23,482	882	206	742,861	2,021	9	2,030	744,891
R 1	30.45	32,393	15,952	9,211	404	1,856	33	419,783	157,837	56,458	37,820	966	225	673,089	2,199	27	2,226	675,315
合計	55.32	60,952	27,804	20,350	773	3,562	44	894,266	353,011	105,092	61,302	1,848	431	1,415,950	4,220	36	4,256	1,420,206

様式－３			被害額(事業着手時点)			水系名:神通川			河川名:井田川			流量規模:W=1/5			単位:百万円					
氾濫ブロック	家屋		家庭用品		事業所資産		一般資産被害額		農作物被害額		公共土木施設等被害額		間接被害額				合計			
					償却	在庫	償却	在庫	小計	水稻	畑作物	農作物小計	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用				
													農漁家資産		小計					
L1	341	25	45	12	0	0	0	0	423	2	0	2	717	20	3	7	10	1	31	1,173
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	341	25	45	12	0	0	0	0	423	2	0	2	717	20	3	7	10	1	31	1,173

様式－３ 被害額(事業着手時点)				水系名：神通川				河川名：井田川				流量規模：W=1/10				単位：百万円			
氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				間接被害額								合計		
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	家庭における応急対策費用				事業所における応急対策費用			
			償却	在庫	償却	在庫						営業停止損失	清掃労働対価	代替活動等	小計				
L1	2,489	372	417	184	1	0	3,463	91	1	92	5,866	168	27	49	76	7	251	9,672	
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,489	372	417	184	1	0	3,463	91	1	92	5,866	168	27	49	76	7	251	9,672	

様式－３				被害額(事業着手時点)				水系名:神通川				河川名:井田川				流量規模:W=1/20				単位:百万円			
氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				間接被害額				合計										
	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	営業		家庭における					事業所における 応急対策費用	小計					
	家屋	家庭用品	償却	在庫						償却	在庫	清掃労働対価	代替活動等										
														停止損失	被害額								
	L 1	3,056	466	556	247	1	0	4,326	124	1	125	7,329	227	35	66	101	9	337	12,117				
R 1	180	56	83	25	0	0	344	6	0	6	583	36	6	11	17	1	54	987					
合計	3,236	522	639	272	1	0	4,670	130	1	131	7,912	263	41	77	118	10	391	13,104					

様式－３ 被害額(事業着手時点)				水系名:神通川				河川名:井田川				流量規模:W=1/30				単位:百万円			
氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				間接被害額								合計		
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		水稻	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	家庭における応急対策費用				事業所における応急対策費用				
			償却	在庫	償却	在庫					清掃労働対価	代替活動等	小計						
L 1	3,480	504	603	264	1	0	4,852	146	1	147	8,220	248	39	72	111	11	370	13,589	
R 1	446	98	139	46	0	0	729	32	0	32	1,234	56	8	15	23	4	83	2,078	
合計	3,926	602	742	310	1	0	5,581	178	1	179	9,454	304	47	87	134	15	453	15,667	

様式一3 被害額(事業着手時点) 水系名:神通川 河川名:井田川 流量規模:W=1/50 単位:百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				間接被害額							合計		
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用			
			償却	在庫	償却	在庫						営業停止損失	清掃労働対価	代替活動等			小計	
L 1	4,179	647	681	292	2	1	5,802	169	1	170	9,826	289	49	92	141	12	442	16,240
R 1	550	113	184	67	0	0	914	46	0	46	1,550	74	10	18	28	5	107	2,617
合計	4,729	760	865	359	2	1	6,716	215	1	216	11,376	363	59	110	169	17	549	18,857

様式一3 被害額(事業着手時点) 水系名:神通川 河川名:井田川 流量規模:W=1/100 単位:百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				間接被害額							合計			
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	営業停止損失	家庭における応急対策費用				事業所における応急対策費用	小計	
			償却	在庫	償却	在庫							清掃労働対価	代替活動等	小計				
L1	5,304	863	942	377	4	1	7,491	199	1	200	12,690	399	66	123	189	14	602	20,983	
R1	741	183	253	90	1	0	1,268	58	0	58	2,149	97	13	23	36	5	138	3,613	
合計	6,045	1,046	1,195	467	5	1	8,759	257	1	258	14,839	496	79	146	225	19	740	24,596	

様式－３ 被害額(事業完成時点)

水系名：神通川

河川名：井田川

流量規模：W=1/5

単位：百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				間接被害額					合計
	家屋	家庭用品	事業所資産		水稲	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	
			償却	在庫						清掃労働対価	代替活動等	小計		
L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式－３ 被害額(事業完成時点)

水系名：神通川

河川名：井田川

流量規模：W=1/10

単位：百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額			農作物被害額			間接被害額						合計		
	家屋	家庭用品	事業所資産		水稲	畑作物	農作物 小計	公共土木 施設等 被害額	営業 停止 損失	家庭における 応急対策費用				事業所 における 応急対策 費用	小計
			償却	在庫						清掃 労働 対価	代替 活動 等	小計			
L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式－３ 被害額(事業完成時点)

水系名：神通川

河川名：井田川

流量規模：W=1/20

単位：百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額			間接被害額					合計		
	家屋	家庭用品	事業所資産		水稲	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	営業停止損失	家庭における応急対策費用				事業所における応急対策費用	小計
			償却	在庫						清掃労働対価	代替活動等	小計			
L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式－３ 被害額(事業完成時点)

水系名：神通川

河川名：井田川

流量規模：W=1/30

単位：百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額			間接被害額					合計	
	家屋	家庭用品	事業所資産		水稲	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	営業停止損失	家庭における応急対策費用				
			償却	在庫						清掃労働対価	代替活動等	小計		
L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

様式－３ 被害額(事業完成時点)

水系名：神通川

河川名：井田川

流量規模：W=1/50

単位：百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				間接被害額						合計
	家屋	家庭用品	事業所資産		小計	水稻	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	
			償却	在庫							清掃労働対価	代替活動等	小計		
L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式－３ 被害額(事業完成時点)

水系名：神通川

河川名：井田川

流量規模：W=1/100

単位：百万円

氾濫ブロック	一般資産被害額				農作物被害額			間接被害額					合計				
	家屋	家庭用品	事業所資産		小計	水稻	畑作物	農作物小計	公共土木施設等被害額	営業停止損失	家庭における応急対策費用			事業所における応急対策費用	小計		
			償却	在庫							償却	在庫				清掃労働対価	代替活動等
L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

様式－4 年平均被害軽減期待額

水系名：神通川

事業名：神通川特定構造物改築(大坪用水堰)

河川名：井田川

(単位：百万円)

流量規模	超過確率	超過確率	被害額			区間平均被害額④	区間確率⑤	年平均被害額④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額(百万円)
			事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	軽減額③=①－②				
1/3.1	0.323	3.1	0	0	0	587	0.1226	72	72
1/5	0.200	5.0	1,173	0	1,173	5,423	0.1000	542	614
1/10	0.100	10.0	9,672	0	9,672	11,388	0.0500	569	1,183
1/20	0.050	20.0	13,104	0	13,104	14,386	0.0167	240	1,423
1/30	0.033	30.0	15,667	0	15,667	17,262	0.0133	230	1,653
1/50	0.020	50.0	18,857	0	18,857	21,727	0.0100	217	1,870
1/100	0.010	100.0	24,596	0	24,596				

年次		t	便益				費用						費用 便益比 B/C	純現在 価値 B-C
			便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在価値			費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値		
整備期間	H14	-9	0	0			1,202	1,761	0	0	1,202	1,761		
	H15	-8	0	0			1,492	2,102	0	0	1,492	2,102		
	H16	-7	0	0			1,517	2,046	0	0	1,517	2,046		
	H17	-6	0	0			688	888	0	0	688	888		
	H18	-5	0	0			401	492	0	0	401	492		
施設完成後の 評価期間（50年）	H19	-4	1,870	2,188					4	5	4	5		
	H20	-3	1,870	2,103					4	4	4	4		
	H21	-2	1,870	2,023					4	4	4	4		
	H22	-1	1,870	1,945					4	4	4	4		
	H23	0	1,870	1,870					4	4	4	4		
	H24	1	1,870	1,798					4	4	4	4		
	H25	2	1,870	1,729					4	4	4	4		
	H26	3	1,870	1,662					4	4	4	4		
	H27	4	1,870	1,598					4	3	4	3		
	H28	5	1,870	1,537					4	3	4	3		
	H29	6	1,870	1,478					4	3	4	3		
	H30	7	1,870	1,421					4	3	4	3		
	H31	8	1,870	1,366					4	3	4	3		
	H32	9	1,870	1,314					4	3	4	3		
	H33	10	1,870	1,263					4	3	4	3		
	H34	11	1,870	1,215					4	3	4	3		
	H35	12	1,870	1,168					4	2	4	2		
	H36	13	1,870	1,123					4	2	4	2		
	H37	14	1,870	1,080					4	2	4	2		
	H38	15	1,870	1,038					4	2	4	2		
	H39	16	1,870	998					4	2	4	2		
	H40	17	1,870	960					4	2	4	2		
	H41	18	1,870	923					4	2	4	2		
	H42	19	1,870	888					4	2	4	2		
	H43	20	1,870	853					4	2	4	2		
	H44	21	1,870	821					4	2	4	2		
	H45	22	1,870	789					4	2	4	2		
	H46	23	1,870	759					4	2	4	2		
	H47	24	1,870	730					4	2	4	2		
	H48	25	1,870	701					4	2	4	2		
	H49	26	1,870	674					4	1	4	1		
	H50	27	1,870	649					4	1	4	1		
	H51	28	1,870	624					4	1	4	1		
	H52	29	1,870	600					4	1	4	1		
	H53	30	1,870	577					4	1	4	1		
	H54	31	1,870	554					4	1	4	1		
	H55	32	1,870	533					4	1	4	1		
	H56	33	1,870	513					4	1	4	1		
	H57	34	1,870	493					4	1	4	1		
	H58	35	1,870	474					4	1	4	1		
	H59	36	1,870	456					4	1	4	1		
	H60	37	1,870	438					4	1	4	1		
	H61	38	1,870	421					4	1	4	1		
	H62	39	1,870	405					4	1	4	1		
	H63	40	1,870	390					4	1	4	1		
	H64	41	1,870	375					4	1	4	1		
	H65	42	1,870	360					4	1	4	1		
	H66	43	1,870	346					4	1	4	1		
H67	44	1,870	333					4	1	4	1			
H68	45	1,870	320					4	1	4	1			
合計			93,500	48,876	88	48,964	5,300	7,289	200	105	5,500	7,394	6.6	41,570

費用便益分析チェックシート

事業名:神通川特定構造物改築(大坪用水堰)

記入日:平成23年12月

項 目			チェック欄	内 容
共通事項	基準年度	基準年度を評価年度としているか	☒	平成23年度
	評価対象期間	全体事業における評価対象期間は整備期間+50年間となっているか	☒	H14年～H68年 (整備期間H14年～H18年)
		残事業における評価対象期間は評価年度の翌年度からの整備期間+50年間となっているか	☐	
氾濫原の資産等	人口・世帯数	数量等の根拠となる統計資料は、最新版を適用しているか	☒	国勢調査平成17年版
	産業分類別従業者数		☒	事業所・企業統計調査平成18年版
	農漁家数		☒	国勢調査平成17年版
	延床面積		☒	メッシュデータ 平成12年版 (財)日本建設情報総合センター
	水田・畑面積		☐	数値地図 平成18年版 (1/10細分区画土地利用データ) (財)日本地図センター
	資産評価単価	家屋1㎡評価額	☒	平成23年2月版
		家庭用品評価額	☒	平成23年2月版
		事業所 償却・在庫資産	☒	平成23年2月版
		農漁家 償却・在庫資産	☒	平成23年2月版
		農作物価格	☒	平成23年2月版
	被害率	「治水経済調査マニュアル(案)平成17年4月」 P49～P55記載の被害率を適用しているか	☒	
	原単価	「治水経済調査マニュアル(案)平成17年4月」 P56～P58記載の原単価を適用しているか	☒	
算定条件	社会的割引率	費用について、評価時点の前後に社会的割引率4%を適用し現在価値化をしているか	☒	
		便益について、評価時点の前後に社会的割引率4%を適用し現在価値化をしているか	☒	
	デフレーター	費用について、「治水経済調査マニュアル(案)巻末参考資料(最新版)」のデフレーターを用いて、物価変動を調整しているか	☒	平成23年2月版
	感度分析	残事業、全体事業それぞれの費用便益分析において、残事業費(基準年度の翌年度以降の事業費)±10%の感度分析を行っているか	☐	
残事業、全体事業それぞれの費用便益分析において、残工期(基準年度の翌年度以降の工期)±10%の感度分析を行っているか		☐		
残事業、全体事業それぞれの費用便益分析において、資産±10%の感度分析を行っているか		☐		
その他	[上記によらない場合、その理由及び適用した資料等を記述すること] ・事後評価のため、残事業評価は実施していない。 ・氾濫解析モデルが50m×50mメッシュであるため、水田・畑面積は1/10細分区画土地利用データ(100m×100mメッシュ)は用いず、関連市町村発行の白図から取得したメッシュ土地利用(50m×50mメッシュ)を適用し算定した。 ・事後評価のため、感度分析は実施していない。			

平成22年12月版

事業費の内訳書

河川事業

事業名	神通川特定構造物改築(大坪用水堰) (全体事業費)
-----	---------------------------

評価年度	平成23年度	完了後の事後評価
------	--------	----------

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費					3,235	
	本工事費				1,764	
		築堤	m	800	234	
		護岸	m	840	1,310	
		床止工	式	1	220	
	附帯工事費				1,471	
		本体工	式	1	759	
		ゲート	式	1	288	
		取排水路・用水路・ 管理施設・旧堰撤 去	式	1	424	
用地費及補償費				708		
	用地費	ha	2.2	200		
	補償費	戸(棟)	11(9)	508		
間接経費				842		
工事諸費				515		
事業費 計				5,300		
維持管理費				200		